



人権教育研究指定校の取組から学ぶ

県人権教育総合推進地域事業

指定地域：始良市（山田中学校区）

夢や希望をもち、自他共に認め合う心を育てる人権教育の推進

始良市立山田中学校を中心に、学校・家庭・地域が連携しながら取組を進めてきました。

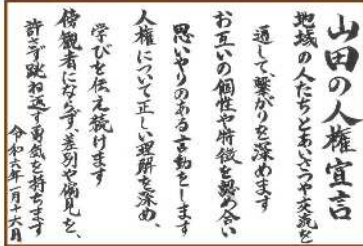
山田中学校の主な取組

- 人権課題を共有し考えるための全校授業（ユニット学習）
- 9か年を通した人権教育カリキュラムの作成
- 小・中交流学習会
- 校区ブロック小・中合同研修会
- 家庭や地域への人権意識調査の実施

取組の集大成として、「山田の人権宣言」を作成しました。

【話し合いの様子】

宣言に盛り込む内容は、家庭や地域の方々も交えて話し合わせ、山田中学校区の人々の思いや願いが詰まった人権宣言が誕生しました。



【生徒による揮毫】

県人権教育研究指定校事業

瀬戸内町立古仁屋中学校

心豊かで思いやりの心に富む生徒の育成を目指した学校づくり

生徒の自尊感情の育成を目指して、自他を大切にする人権教育を中心に据えた取組を進めてきました。

【文化祭：3年生による劇「潮鳴りは絶えず」】



古仁屋中学校の主な取組

- 人権尊重の視点に立った授業モデルの設定
- 人権コーナーの設置や作品掲示の工夫
- 生徒会主体の取組の充実
- 外部講師による研修会や講演会等の実施
- 家庭や地域と連携した行事や体験活動

全国学力・学習状況調査生徒質問紙の結果から、「自分には良いところがある」と感じている生徒の割合について、令和4年度は66.6%と全国に比べて低いことが課題でしたが、令和5年度は79.1%となり、生徒の自己肯定感の高まりがうかがえます。

子どもの人権プロジェクト推進校の取組

令和5年度は、24校を「子どもの人権プロジェクト推進校」として指定しています。

推進校における取組は、県教委ホームページに掲載していますので、各学校における人権教育の実践に役立ててください。

「子どもの人権プロジェクト」でも検索できます。



年間を通した人権教育の推進

各学校においては、目指す学校像や児童生徒像を明確にし、全教職員が共通理解した上で、校長のリーダーシップの下、年間を通して組織的・計画的に人権教育を進めることが大切です。

人権教育推進サイクルモデル



左図のモデルを参考にして、各学校の実態に応じて独自の人権教育推進サイクルモデルを作成し、更なる人権教育の推進を図ってください。

R6年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」30ページに掲載しています。

(R6.4 配布予定)